

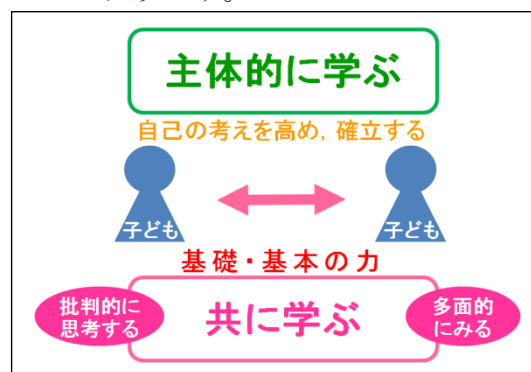
## 第4章 主体性を大切にし、探究的な学習を充実させる総合的な学習の時間の具現をめざして

### ◆◇ 主体的に学ぶ ◇◆◇

学習の主体者は、子どもです。主体的に学ぶことで、知識が実生活や実社会において生きて働く「知恵」に変わります。

担任をしていたとき、常々、私は子どもたちに「マスターキーを持ちなさい。」とっていました。一つの部屋を開ける鍵をいくつも持つよりも、どの部屋でも開けられる鍵の一つを持つ方が実際的だということです。ここでいう「部屋」とは「ものごと・課題」のことで、「開ける」というのは「成す・解決する」ということです。つまり鍵は「知識」のことであり、マスターキーは「知恵」のことで、マスターキーを持つためには、主体的に学ぶことが大切です。

では、主体的に学ぶとは、どういうことなのでしょう。それは、自己の考えを高め、確立することです。そのためには、協働的な学びのプロセスを大切にします。「パーソナルワーク→グループワーク→クラスワーク」というプロセスを繰り返したことで、批判的に思考し自分の考えを確立したり、自分のことを多面的に見たりできるようになっていきます。つまり、主体的に学ぶことは、共に学ぶことでもあるのです。



共に学ぶためには、子ども一人一人に基礎・基本の力が身に付いていなければなりません。そのためには、教師も子どもも各教科等との関連、学年の系統性を意識して、一学年ごとに段階的に、確実に力を付けていくことが大切となります。

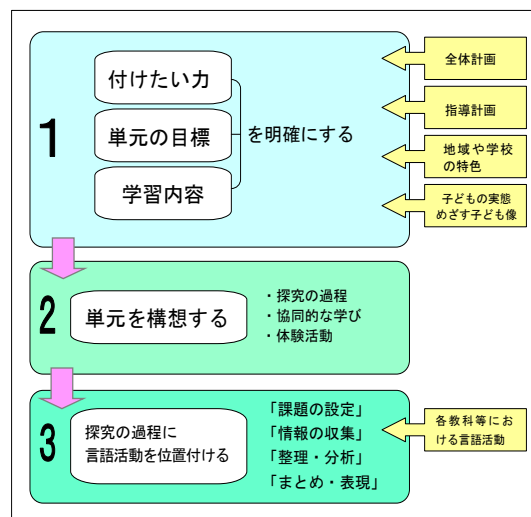
### ◆◇ 探究的な学習を実現する ◇◆◇

探究的な学習が実現することで、課題発見力、課題追究力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などの力が育成されるだけでなく、主体的な学びが成立する上で大切となる有用感、学習に対する意欲も高まります。そのためには、どのような手順で「総合」の単元を構想すればよいのかについて整理しておこうと思います。

まず、各学校で作成されている「総合」の全体計画に示された「目標及び内容、育てようとする資質や能力及び態度、指導方法、評価の計画」や「指導計画」、「地域や学校の特色」、「子どもの実態及び目指す子ども像」を基に、この単元で付けたい力、目標、学習内容を明確にします。

次に、それらをもとに、単元を構想します。このとき、三つの点に留意することが大切です。一つは、探究の過程が発展的に繰り返されていくようにすることです。もう一つは、協働的な学びとなるように、友だちや地域の人や学習に関係のある大人と関わり合うことのできる場面を設定することです。また、実際に見る、聞く、やってみるなどの体験活動を設定することも大切です。意味ある体験を意図的に重ねることで、子どもの学びを豊かにすることができます。

最後に、構想した単元の中の各過程に、体験活動とつなげて言語活動を位置付けます。ここで忘れてはならな



## 第4章 主体性を大切にし、探究的な学習を充実させる総合的な学習の時間の具現をめざして

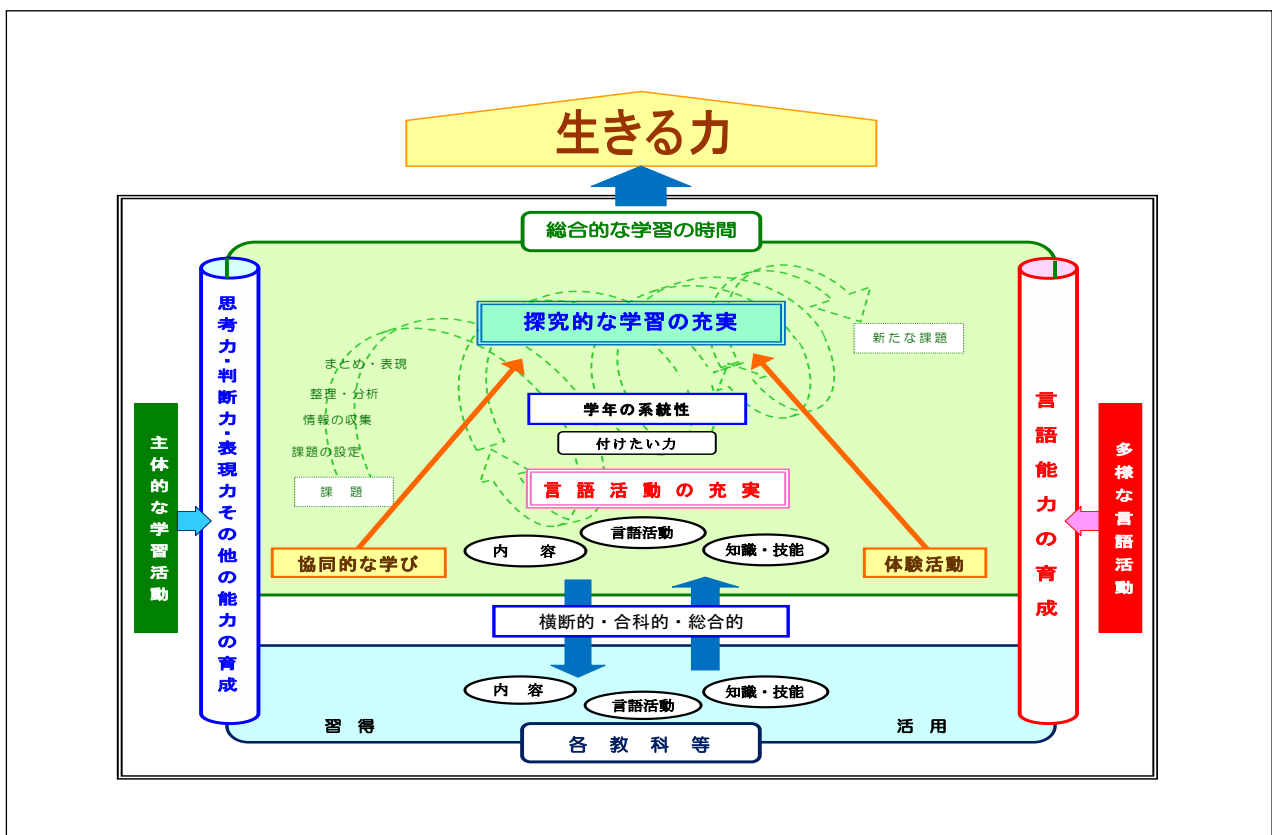
いのは、言語活動を大事にしなが、子どもたちがより充実した探究的な学習が行えるようにすることです。そのために、各教科等との関連を図ることが大切となります。そのとき、既に身に付けている力は何なのか、その活動はいつ（何年生）、どこで（教科等、単元）、どのように学んでいるのかを確かめ、この単元ではどのように提示し、どのように展開するのかを考えることが求められます。そして同時に、この単元で付けたい新しい力は何なのか、新たに行う言語活動は、他教科等の言語活動とどのような関連があるのかを内容と知識・技能の面から整理しておくことも求められます。教科等において言語活動が充実され、確かな言語能力が育成されてこそ、「総合」でその能力を活用することができるのです。

### ◆◇ 生きる力を育む ◇◆◇

主体的に学ぶことで探究的な学習が充実します。探究的な学習が充実することで「生きる力」が育成されていきます。ここでいう「生きる力」とは、学習指導要領に示されている力であり、「社会を生き抜く力」のことです。

「総合」は、横断的、合科的、総合的な学習であり、各教科等で身に付けた内容や知識・技能を相互に関連付け、学習や生活に生かし、それらが子どもの中で総合的に働くことが求められています。つまり、「総合」だけで「生きる力」を育成するのではないのです。内容や知識・技能、言語活動において横断的、合科的、総合的に各教科等と関連させながら、探究的な学習を展開することが重要になります。また、全ての教科等で、主体的な学習活動と、多様な言語活動を展開することで、思考力・判断力・表現力や言語能力などを子どもに育成していくことが大事になります。

子どもに主体的な学習を保障し、探究的な学習を充実させ、「生きる力」を育成していくためには、一人一人の教師がそのこと意識し、授業を改善することはもちろんのこと、学校全体で取り組むことが重要なのです。



〈「生きる力」を育むための総合的な学習の時間と各教科等との関係〉